

報道機関担当者各位  
ニュースリリース

平成 23 年 5 月 15 日  
NPO 法人 ( 申請中 ) フロンティア南相馬

## plant to plant キャンペーンを実施

発電所の電力から緑の苗へ 情報を発信

南相馬市の NPO 法人 ( 申請中 ) フロンティア南相馬 ( 所在地 : 福島県南相馬市鹿島区 代表 : 大宮篤史 ) は、「plant to plant」 キャンペーンを実施いたします。

この取り組みは、グリーンカーテンの普及を通じ、発電所 ( plant ) の電気から、緑の苗 ( plant ) へ置き換えていくことを呼びかけるものです。この取り組みを通じて、首都圏の電気のこと、南相馬をはじめとする電力供給地のことを考えるきっかけとして頂くことを目的としています。

今後、ゴーヤの苗を生産し、緑のカーテンの販売をする南相馬市震災復興に取り組む農業者の会 ( 所在地 : 南相馬市鹿島区 会長 : 只野 孝一 ) など、緑のカーテンの普及に取り組む団体などと連動し、イベントをはじめとする情報発信に取り組んでいきます。

▶問い合わせ

NPO 法人 ( 申請中 ) フロンティア南相馬

電話 080-1661-1583、1584

e-mail [plant.to.plant@gmail.com](mailto:plant.to.plant@gmail.com)

報道機関担当者各位  
ニュースリリース

平成 23 年 5 月 15 日  
南相馬市震災復興に取り組む農業者の会

## 南相馬市復興モデル事業第一号に採択

### 農業者がゴーヤの緑のカーテンを販売

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会(所在地:福島県南相馬市鹿島区 会長:只野 孝一)が取り組むゴーヤの苗を用いた緑のカーテンを販売する事業が、南相馬市の実施する復興モデル事業の第一弾として採択されました。

この取り組みは、南相馬市の農業者で組織する南相馬市震災復興に取り組む農業者の会が実施するものです。県内有数の種苗農家が中心となり、生産活動を通じて地域復興への足がかりとするとともに、今夏、首都圏の電力不足が予測される中で、エネルギーについて考えるきっかけを提供することを目的とするものです。

また、緑のカーテンを販売する取り組みにとどまらず、苗づくりの技術を生かしながら、活動をご支援頂いた皆さまに、野菜や花の苗の育て方や、収穫した野菜のおいしい食べ方など、農業者が蓄えた知恵やノウハウを伝えていく活動にも取り組むことで、地域の復興への足掛かりとしてまいります。

南相馬市の復興に向けた取り組みを支援する、復興モデル事業に採択されたことを機に、今後も緑のカーテンの生産・販売体制を強化し、HP やイベントを通じて情報発信に取り組めます。

#### ▶問い合わせ

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会 企画・販売部

電話 080-1661-1583、1584

e-mail [plant.to.plant@gmail.com](mailto:plant.to.plant@gmail.com)

南相馬市経済部

電話 0244-24-5261

報道機関担当者各位  
ニュースリリース

平成 23 年 5 月 15 日  
南相馬市震災復興に取り組む農業者の会

## 原子力災害の被災地から省エネを発信

### 南相馬市の農業者がゴーヤの緑のカーテンを販売

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会(所在地:福島県南相馬市鹿島区 会長:只野 孝一)は、地域を挙げてゴーヤの苗の生産に取り組むとともに、本日より緑のカーテンとして販売してまいります。

この取り組みは、南相馬市の農業者で組織する南相馬市震災復興に取り組む農業者の会が実施するものです。県内有数の種苗農家が中心となり、生産活動を通じて地域復興への足がかりとするとともに、今夏、首都圏の電力不足が予測される中で、エネルギーについて考えるきっかけを提供することを目的とします。

南相馬市は、県内有数の野菜の苗の生産地で、現在、およそ 20 人の農業者がゴーヤの苗栽培に取り組んでいます。初回出荷分のゴーヤの苗については、5 月 15 日に南相馬市鹿島区の JA そうま 鹿島総合支店前広場にて開催される種苗市で販売するとともに、JA そうま鹿島総合支店の壁面に緑のカーテンを設置いたします。

協議会では、今後、HP やイベントを通じて情報を発信していくとともに、6 月初めの本格出荷に向けて、生産体制を構築してまいります。

#### ▶問い合わせ

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会 企画・販売部

電話 080-1661-1583、1584

e-mail [plant.to.plant@gmail.com](mailto:plant.to.plant@gmail.com)

▶南相馬市の農業

南相馬市の農家は 3,969 戸と、市内の 17%が農業と携わり生活しています。(平成 22 年、農業センサス)また、農業従事者はおよそ 3,000 人にのびります。

高い技術を有する、認定農業者は 352 人と、ここ数年増加しており、担い手育成が進んでいました。

南相馬市の農業産出額はおよそ 100 億円で、このうちコメが 55 億円、畜産がおよそ 20 億円、野菜が 17 億円となっています。(平成 17 年、生産農業所得統計)

▶南相馬市の種苗農家

農家の野菜生産プロセスは分業化しており、苗を仕入れて生産する作物も多くあります。とりわけキュウリやトマトなどは、連作障害があるため、接ぎ木の必要があるため、多くの農家で苗を購入し生産にあたっています。

南相馬市内には、高い技術を有する種苗生産を専門とする農家があり、積極的に育成を進めてきました。平成 22 年には、キュウリの苗を 60 万株生産しており、福島県産のキュウリの 30%相当を担っている計算になります。

農業王国の福島県を縁の下で支えています。

▶問い合わせ

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会 企画・販売部

電話 080-1661-1583、1584

e-mail [plant.to.plant@gmail.com](mailto:plant.to.plant@gmail.com)

南相馬市経済部

電話 0244-24-5261

## 南相馬市震災復興に取り組む農業者の会

### ▶南相馬市震災復興に取り組む農業者の会とは

甚大な被害をもたらした、東日本震災に伴う津波や東京電力第一原子力発電所の事故。そのような状況下で、地元農業者が意欲をもって農業再建に踏み出せるよう、地元種苗農家が中心となり結成した団体です。会の目的は、現実的に今できる生産活動を通じ、その喜びを復興の足掛かりとしていくことです。

### ▶参加団体

( 生産 )

原町野菜技術研究会、原町区認定農業者会、  
南相馬市鹿島区認定農業者会経営改善技術研究会、JA そうま種苗部会、  
国際農友会原町支部、国際農友会、鹿島支部、ASK、農青連、みちのく生産部会

( 販売 )

JA そうま、NPO 法人 ( 申請中 ) フロンティア南相馬

### ▶所在地

生産事務所	KAYANOKI FARM 979-2451 南相馬市鹿島区浮田字一丁田 88
企画・販売事務所	NPO 法人 ( 申請中 ) フロンティア南相馬
荷造・出荷事務所	JA そうま 979-2442 南相馬市鹿島区横手字川原 185 番地の 1

### ▶問い合わせ

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会 企画・販売部

電話 080-1661-1583、1584

e-mail [plant.to.plant@gmail.com](mailto:plant.to.plant@gmail.com)

## 緑のカーテンとは？

### ▶南相馬市のとりくみ

南相馬市では、2011年から協議会のメンバーでもある農家が協力し、南相馬市鹿島区役所庁舎にゴーヤのカーテンを設置しました。

ゴーヤはおよそ1か月半で、1階部分を覆うほど生い茂りました。

収穫したゴーヤは、窓口を訪れた市民に配られるなど、その涼しさとおいし

さを実感して頂きました。

### ▶緑のカーテンの効果

山口県が平成19年度に取り組んだ

「山口エコ・グリーン作戦」の報告書によると、

(<http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/earth/gwarming/yeg.htm>)

緑のカーテンを効果的に配置することで、冷房にかかる電力を最大30%~40%節電されることが示されています。

(引用元；松井民憲、1990、『植物を利用した省エネルギー』緑の読本シリーズ14、「公害と対策 臨時増刊 Vol.26」)

### ▶問い合わせ

南相馬市震災復興に取り組む農業者の会 企画・販売部

電話 080-1661-1583、1584

e-mail [plant.to.plant@gmail.com](mailto:plant.to.plant@gmail.com)



収穫の様子 (南相馬市鹿島区役所)



設置直後 (南相馬市鹿島区役所)

平成22年5月28日撮影

## 復興モデル戦略事業第1弾

### 「南相馬産ゴーヤー」エコ・エネルギー支援事業(案)

福島県南相馬市経済部 2011.5.2

#### 1 事業創設の主旨

南相馬市では、東京電力福島第一原子力発電所事故による国の避難指示区域、屋内退避指示区域、さらに南相馬市民の一体的な取り組みの必要性から、全市民に対し避難の呼びかけをし、このことで30km圏域にかかわらず市内全域で多くの市民・農家が市外へ避難した。

また、野菜や原乳の出荷停止及び放射能の風評被害により出荷できないなど、畜産、稲作農家、園芸農家などあらゆる農業分野において原子力被害が出ており、特に、担い手や大規模な農業者ほど深刻な経営状況となっている。

市の重要な基幹産業は、第一次産業であり、将来に亘っても

土地利用型農業、畑作物等の振興を前提としながら生かしていく。

地域の基幹産業の再復活を目指すため、国民に対してエコ・エネルギーによる啓発・推進を促すとともに、原子力被害で苦しんでいる農業者支援として新事業の創出を図る。



#### 2 事業の内容

地球的規模における電力消費の節減対策として、植物(ゴーヤー、その他)を利用した日陰作戦による消費電力削減を行い、さらに多くの国民による植物への愛好家を育てる。

製造内容は、苗づくりをして「ゴーヤー・エコエネルギー」セット製造して、一般家庭をはじめ、公共施設、事業所、民間企業などへ啓発して販売の促進を図る。

製造販売セット数 30,000セット

#### 3 ゴーヤー植物原理と特徴

ゴーヤーは、熱帯アジア原産の果菜類。「ツルレイシ」、「ニガウリ」とも呼ばれている。別名のニガウリの名前が示す通り、独特の苦味が特徴です。この苦み成分はモモルデシンといい、胃液の分泌を促進するため、夏バテによる食欲減退を緩和させる働きがある。このほか、ビタミンCやミネラル分を豊富に含み、夏の食卓に恰好の食材です。

生育が、おう盛で病害も比較的少ないため、家庭菜園向き。土壌の適応性は、広範囲ですが、水はけのよい土壌に向き、砂質の土壌でもよく生育する。

#### 4 地域経済波及効果

- ・地域のやる気のある若い農業者 10人育成
- ・地域に存在する事業所、企業、組合を利用し資材の発掘・利用  
木製プランタ→森林組合、肥料土→小高区神山地内製造会社など利用
- ・販売目標数 30,000セット
- ・販売額 1億2千万円